満鐵總裁の

ルビンにおける

尽特體三十一日發】吉林居留「民會長三橋清明及び稲村帰一の職

北満在留同胞の

休安問題を陳情

朝野各方面を歴訪中の

三橋吉林代表語る

政友總務會意見

村事件と既定方針 な て處分せんさするもの、解して處分せんさするもの、解し

【京城特體十日屋】 朝鮮における

處置期往

日露支要人招待

盛な園遊會開催

満鐵總裁ハルビンて

人學は男女共學

大學豫備校の共學は

理の件(適

山氏などて外遊に出費せらむべと山氏などて外遊に出費せらむべと 閣氏の外遊督促

網繁安全を保険すべしさ時間した で、せめて今日一日は緊急、 医情にしても関家の大不幸記念

大連にも歌災職者の追喚かでも

生後はされる、大 です。 次郎さーん! 助けてよー が直に足をさらはれた。 かかーンさからい密痛を、 解天 ラシーンさからい密痛を、 解天

た 戦勢が使えた。 で食薬のあげる だんと何んにも聞えなくなっ 洋子の死が強くから隠えた。

いやく

外出に警戒 での「は外田を見合せ開致して層る に対 に振めてかる、これがため日本人 さになる。緑な経済組織の社會だださかへつて百姓は覚えする、総ださかへつて百姓は覚えする、総

賑災公債は

數回に分割後行

自器の満洲の新記録者が出た。だ

だファッさ林が続くなってす

橋 河合洋

「城内で?、乞食に!、まち恐ろ を食の間に襲けれて

「さうだ、面に収録のがへー」 は知ってゐる中に遊くなって來た。 と知ってゐるだけに小を子の縫も と

れば興血より浮血に悪化し治療量は疑びない疾病により浮血に悪化し治療量は疑びない疾病 血液は濃厚に混濁

水島爾保布

* | 再び郷予江以北地方の水雪な農院 | 日南京で行はれる順越側氏の著僧

英政府の

ト氏書記長解任

增稅方針

おしやべり

常能は彼等の戦手

住友の小倉氏か

風都の陰謀(十つ)の秘轄を織べ掘れて、部屋から殿 を裏が一発に襲びかいつて本 で信は受話器を取り上げた。 で信は受話器を取り上げた。 で信は受話器を取り上げた。 で信は受話器を取り上げた。 なら たって食ぎが一発に襲びかいつて本 では、 変話器を掛けた時には資白であると、 ででは、 変話器を掛けた時には資白であると、 でも でき変が一発に襲びかいつて本 では、 変話器を掛けた時には資白であると、 なら たっと

藤順三

人が堪なくない。一世本院に続き一に着く場所の供信をよっことは野田寺道の人々と足事を描ってゆったるまい。大正十六年の一時に登通っての出を表した大変としてが、東一部の出を表した大変として、大い者になる。所に、大正十六年の一時年日からまた、東京の出を表した大変として、大い者になる。而も本語は年と共一いであらう、震災国域の

死者梗概二十餘萬人

の 売子さ洋子の製くやうな悲鳴が 水郎は二三人撲り作した。 中国分も減壊減薬に撲り作した。

「大陸なこさな完全さ呼んであたが ですが、選手さ小校弄さ光子さん。 ですが、選手で知らせて来たの ですが、選手で知らせて来たの。 ですが、選手で知らせて来たの。

罹災數六百萬人

北平或は天津に

閻氏隱棲を希望

やつきが飛ばして次郎は走つた。 「葉迦な、この俺に跳つて行くなん物へつけてゐる二人の乞貪を、 「城内見嫌に出かけて行つて…… 「まる俺かありましたので?」

なったい活動性を失いた、生存者五百四 まりに観視して恐れを抱かす 配がするときは大腹 とに小器を振ってのがもく者には一時的であつて、 であらう、本窓の罹害者数が多くのがもく者似は一時的であつて、 であらう、本窓の罹害者数が多くのなった。とに小器を見から他人のできごとのがなったるのといはればなるまい なればそれだけ一家領家

社會の損害を被る

日本や大連には反對

医療をなるに決した。なほ應畿山 大場で、北支平和に称めりさら原然 山西派に氏の驅逐な要求する解験 山西派に氏の驅逐な要求する解験 山西派に氏の驅逐な要求する解験 展わりさし北平か天津を選ぶこ本内地、大浦は日本に利用さる

蔣氏水害地視察

十一日報記念選において開店後何





た不然生と言ひ得る故にその不能 やつばり なされたる疾患を進か とと一人の中八人までは自ら犬め 本能を責傷素質に重きをなした時 本能を責傷素質に重きをなした時 かにあるが 大学を したけい れば 一般されたる疾患を進か ことになることを ぶれてしまつて 生を 直み、 続されたる疾患を進か 自己不攝生が九分

高等有精特種海草精劑

| 「大学のでは、 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100

海貴來に若くものは

九年前の 血中風の 劇と

氏は不日全國銀道微彩に組合書記の自治領権民様に就任したトーマス

不時の脳溢血にかいる

奉设

太白樓主人鄧氏語る

よくわかつてるたので支

の結果さ見られてある

沙河口料理店が

遊廓指定地運動

適當な所に移轉計畫

飛び降り無残の自殺を遂げたるがあった、微徹の原数を搬ってスト窓口から身を躍らし約百尺の高所より汲速町と大山通交叉に一日午前二時に万大津繁都の戦心中、渡速町三丁目にそびえ立つ遠東ホテル六 點地上に階の便所

郷する片山樹氏(き)は久しく解床が発見さして世界の共産革命を指行を見さして世界の共産革命を指行を見さしてもり、関際共産産が伝統

作する片山間氏(き)は久

スクワ郊外の旅客地で

て以来の多数の傍殿人が

學生機羅馬

毒死美人の

公判決る

來る四日開廷

た、この突端前の総者はホテル六階の支那料準店太白機前支配人脱泉生れ催寒戦(こ)と規明した【高行戦性を指戦いてゐて人事不然に殴つてゐるので、遼東ホテルに急戦、印発者を燗江興隊に擔き込ん検題に物音に製光の渡速町派出所巡音が騎信ると男は地上に前のカリに俯伏せとなり貢都より出血、映題に物音に製光の渡速町派出所巡音が騎信ると男は地上に前のカリに俯伏せとなり貢都より出血、

在館四千の翔人な繋かした満島殿へれ鷲日は恐らく鎮事館法廷端まつ

漁船乘組員亂鬪

名過つる

昨夜半魚市場棧橋で

使ひ込み金の清算中に

所に」さ云って階を立ち六階便所 中一日午前二時ごろ縦は「一・空便所 を立って階を立ち六階便所 さから販通ひなするうち、ついさから販通ひなするうち、ついでからしては金を使込んだものです。 しかし店さしては六十餘

香港に妻を残し小崗子で遊輿 脳震盪

さなり指権の月間りに血腥い光歌ーさなり前記服名が古媛に打つてかり剛概頼編覧入り能れて大劉國

人震災九年忌を迎へて

けふ教化總動員

拂曉忠靈塔下に三千餘名參集

大廣場に行進默禧

あすは二百十日 天候は先づ大丈 て起訴の書、なほ死性は

旅大對抗庭球戰

年前十一時より本社主像新聞、 東殿殿庭球路後援のもさに旅順標 でつて入場式を行び削減のもさに旅順標 でつて入場式を行び削減の修験者

支那訪問飛行 常新現銀未来特請保受未假製商貯有諸長工持土 合期期 行經過 取 取 價礦客 地 類相 預過 保 工 手 蹬石炭 什 位計 全金金金息料店事金形金金品品品券山坑場櫃器

御相談に聴じますの総での

青話六五四四番 大連市兒玉町四番

八

御家庭向大德用美味永久不變味保護付

奈良漬

—— 半

三圓六十錢

十四日に出發 之部

但し

一千樽限り

九月一日より

十五日まで

造漬大 屋物連

沙河

佐口

任スでは、南海鶴業株式會社通面監査役金丸富八郎氏辭任ニは面監査役金丸富八郎氏辭任ニ

宮御所の墓太后陛下には本日午常和中の天息最后服陛下並に大津在中の天息最后服陛下並に大

横道河子居住の

天氣節

名物男の小山茂太郎氏

大時 和人の一人で北浦の名物野さされて、大時 和人の一人で北浦の名物野さされておれて、大時 和人の一人で北浦の名物野さされ

八慘殺さる

南ンヨシツク用乗冬夏

田子為 後 豫 平 一 時 孙 去 致 上 一 時 孙 去 致 上 年 後 三 時 孙 去 致

が野致

花の儀は監く御鮮退申上候五致候に付き此段謹告仕候五致候に付き此段謹告仕候

三陛下御默薩

職を出てて音 東京一日費 大戦災人間年歌念出でて音 東京一日費 大戦災人間を行うる、 式祭販が得された、若願首様、安戦の祭る信 整内機以下練野の名力三百綜名列 を持ちれた、若願首様、安戦の祭り後・競長戦争されり継式を終に でしたが繁弾表は三十萬人を呑えた。 これでは、 でしたが紫弾表は三十萬人を呑えた。 これでは、 でしたが紫弾表は三十萬人を呑えた。 これでは、 でしたが紫弾表は三十萬人を呑えた。 これでは、 でしたが紫弾表は三十萬人を呑えた。 これでは、 でしたが紫河を しょう はいい しょう にない しょう しょう はいい しょう はいい しょう にない しょう はいい しょう にない しょう にない しょう にない という にない しょう にない こう にない しょう にない しょく にない しょう にない しょう にない しょう にない しょう にない しょ

記念堂の

けさ輕井澤へ向ふ

に向った二、

る確實の効力を有せり…

安全短時日に應用の目的を建橋得の特殊作用を以て容易く

夏に相應しい尖端的なスポ ーゴルフを

嚴場閉鎖

前十時より開始されたが午前中の歌終日の屋ケ艦秋季龍海は一日午

最終日午前

度位でせず、外づ明日の二百度位でせず、外づ明日の二百

は暑ら氣

日 経には二個人れるさ、些は經濟には二個人れるさ、些は經濟には四個、書館には四個、書館には四個、書館には四個、書館には四個、書館には一個人れるさ、些は經濟に

先づ健康

茶

院展入選發表

『東京一日養』第十八回彩網院版 ・されたが、機脈入は日本部五百九 をれたが、機脈入は日本部五百九 ・大松(新入遼十點十人)版變同 三十三點(新入遼五點四人)同處 ・大九五三日孫徐日四日から公開す も直ぐ死んで了ひます。そこて本

用干 イマツ蠅取粉に限る 効力樟腦の十倍以上 の虫除 信以上対力があって、非常に安く

滿洲一手販賣 福田屋金物店

特別見切品種々特別見切品種々特別見切品種々特別見切品種々特別見切品種々特強を動・鏡臺で針箱・其他種々特強を動・鏡臺で針箱・其他種々特別見切品種を グヨージーとり、このとうこ

場場バ 心頸橫遜 鄭問屋 1 ク羊羹 -

は

幸福の絶頂から

悲しみの極へ

ベルトラメリ 能子女史

は新生産の幸殿な清製と皆ら前び

を提げ出した、雪のやうに白いむながけ出した、雪のやうに白いむないふよりは、雪のやうに白いむながは出した、雪のやうに白いむながけ出した。雪のやうに白いむない。

「さつきから、私のおがいたとい

サケートなでは、 東京のトーキー「跳れては全く機れで背耶郷耶のうちには全く機れで背耶郷耶のうちにでいるその歌艇」な上映するが

マーブメット

D

活

100 100

まで

のため

陕

0 水

4

河部五郎主演小次郎長

H

さ、ちつこも空かないちやわりま

NAME:

(立方)八千代子(唄)お健 三塚 ・ 舞踊獣謡曲「乙女若かれ」(立 ・ 舞踊獣謡曲「乙女若かれ」(立 ・ 舞踊獣謡曲「乙女若かれ」(立 ・ 舞踊獣謡曲「乙女若かれ」(立

る三四本の銚子だけは管空いてもるのか見るさ、腰の上下にわくつたりと窓の膨揺によりか、つ

歌のめる、

な息ぐるしきな感じてゐる。 寒は女から三尺のより膨れて必 こまつてゐる。砂心のなり膨れて必 こまつてゐる。砂心のなり膨れて必 こまつてゐる。砂心なり膨れて必 で、まだ特もつけてゐる。切りた で、まだ特もつけてゐる。切りた

いちやありませんか、そこでお一個もそんな真顔にならないでもい

か知ってるますよし

芝居茶屋公

雷

(172)

に大連数法局から職跡りで放送で に大連数法局から職跡りで放送で

止さなった

0 大会院

最後の

中

第巨の開公び再て〜悪に温急の連大全 開公りよ日七廿

がはしいーんさしてある。だん 京はのでするが、それ程にまだから がでするが、それ程にまだからが、それに二 か、態が出したやうに面を唇にふりに見える。水を見るか、空を見る だ、難は、何處か洗練された、 で髪らしい練である。目立つのは が、離は、何處か洗練された、

見は、云はれてぐつさ飲み乾す で、一番をつき出した。瞳は悩ましてい、女のだくつろいだ壁のやう な、雷をつき出した。瞳は悩まし がに、女のだくつろいだ壁のやう

この腕のふくよかさまで見えるこの腕のふくよかさまで見える 邦樂研究會

四日夜大劇で 科

院醫原相

院醫富安

御好評

生地及

切,

が形が

独得

店具文字書流 借九六八七話電 それの三名 四元の四語章 夷汉 装飾 澄君

家電建 具氣築 並 用用用 石

說大連大理石製作所 10年代田町三大 ト (擬大理石)



目品價特 金モ人雖羽羽羽錦白紅 市 本 有 重 重 秒 市 他 核重 友 節節 團 八 肩 看 看 速町

十十五四八五五九九九 ハハナナナナナ 鉄鉄鉄鉄鉄鉄鉄鉄鉄 よりりりりり

六二八五九 圓圖 八二十十 十十 社 錢錢錢錢

町城磐市連大

美 品質優秀 價低廉なる 心療機の

 (Ξ)

マンカリー: ・一十九日二十九年の秋、イタリー:

ルリ州の町はづれの数食でついまた。 とんのためにはるたく日本から動き人のためにはるたく日本から動き人のためにはるたく日本から動き人のためにはるたく日本から動きといるが、二人はフオー

看無機

特に宿料の勉强と親切叮 噂をモットーと致します

緊縮節約の折柄

遠東ホテルル

藍族芸館

全商品

棉花はどうなるの

没放 相場の前途観

需給の關係ご

重油で惱む

流石不景氣

佐藤王誠氏族

食料品小賣物價下落の一途前月に出して一分一厘前月に出して一分一厘

職は二十五種、 の四十五種、 の一十五種、 の一十五種、 の一十五種、 の一十五種 の一十五種 の一十五種 の一十五種 の一十五種 の一十五種 の一十五種 の一十五種 の一十二種 の一十二年 の一十

八月中に於る海運市況 (地震な中心さする八月中の徹底 (地方・大川巻さしては取りが順調にして貼大 (大市場底)は山下、同繁等の社外大艇 (大市場底)は山下、同繁等の社外大艇 (大市場底)は山下、同繁等の社外大艇 (大市場底)は山下、同繁等の社外大艇 (大市場底)が開源にして比大 (大市場底)が開源に当たい。 (大市場底)が開源に進んだ、か (大部域底) (大市場底) (大市場底

大連港を中心の

微型は五、六萬 日本製ビー

再開延期か

重大問題の上程で

紫檀細工、支那土産品 内地御土産には最適品

印刷般

e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.e.

上海(公司機会元茂水町)見送り機会元茂水町、配金国国に溶付さい正金国国に溶付さい正金国国に溶付さい正金国国に溶付さい正金国国に溶付さい正金国国に溶付きい。

178.7

18,605.1 757.7

887.5

4.044.2

871.4

12.2 205.8

43.3 £56.8

67.2

133.0 C5.2

84.4

1.404.7

181.1

774.7

687.5 90,0

265.3 77.9

402.0

423.2

167.313.4

4.1164

13,751,2

665.5

66.1

32.2

67.6

471.6

156.7

462.9

43L1

28.2

5.9 1.167.3

19.704.6

840.0

東州の漁船に福音 米國ユニオン油が滿洲進出 協定値より遙に廉賣

米大蔵省で公債

市 況自由

上事の御用 通一〇九香地

命

ないだけに悲鳴をあげざる

洋服は元

シツクリと

||日清汽船

・ラ 丁子屋洋服士

國際連輸的武大連支店

大阪商船戲

馮・閻兩氏果して

外遊するか

選舉對策協議

れが國の聲明

次回閣議に附議

「東京一日登」 職談教會後衛 が破職するものな類似された、安全、特上 が破職するものな類似された 本級様は職員を午軽もせずに 本級様は職員を午軽もせずに

第二班派遣に決定す

満蒙問題を協議

明年の軍縮會議に

一は欣然参加す

回答案を決定直に訓電

日登】原掖楸は骸縁脱倉 際俄製液その伸落家間駆につき縦時外移省に散腐外根を訪し勝した

原拓相、外相を訪ふて

他は解天へ称される勝悪にも至 の極緩である『華天電話』 観山事他は吉林に舵て突接決撃 らや事党決撃の狀態にて解が困

湯爾和氏の打電に奉天幹部 對策協議中

、態度緩和されずそのつもりで解決されたしさ三十一日學典、暖式鬱嗽誘び麒麟を起めたが、陸相は断乎としてこれをはねつけたので湯氏はは中村大尉事代に繋する日本常局の麒麟を得るため秘書議節和氏を日本に過激、参謀本都、 婉曲に拒否を促す 學良氏から王正廷氏に

解決は困難の模様

政友幹部會

益々減退

關屋宮內次官 照事就任か 、寒腑されるもの のっさいなった

施務會議 十の兩日

拓務省で

四日頃の官報で公布

1991 最に探答院のでで

イツ賠償條約

五分利公債 大殿省發表-政府公園越に五分利

七百四十六萬面

紫四百七十七萬 ・ の二日間を向九時より除能さ決定 が間東臓よりは日下発腫器長幅 ・ が間東臓よりは日下発腫器長幅 ・ が間東臓よりは日下発腫器長幅

「九時二十五分――その出数を見 本なくなつてもまったのだ。 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつてもまったのだ。 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつてもまったのだ。 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつて、終版さいふほごにも 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつて、終版さいふほごにも 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつてもまってだない。 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつてもまってだない。 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつてもまってだない。 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつてもまってだない。 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつてもまってだない。 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつてもまってだない。 「九時二十五分――その出数を見 本なくなつてもまったのだ。 しから、それは事々しい。さう
すれば、伯母にしれて、佐枝子の
自分が、枕女な態度する立場が、
自分が、枕女な態度する立場が、
ないつて、牧所を早がへりして
いって、牧所を早がへりして
いって、牧所を早がへりして
いって、牧所を早がへりして

1、表派遣費 捻出で協議

府縣議戰ご 無產候補

對支態度を聲明

| 東京一日登]| 今秋の地方選鵬後 | 総後能決定は地 神者につき勢息大衆族社會民衆族 | 総表を告げる法 が表している。 職相から提案の

至急原案を取り纏る 收は過酸と動られ非常に注目され

成る

を動の関連に変形をあることも出来ると を動の数官職座の統一もつくわけ であるが、水単校經感の自治性を であるが、水単校經感の自治性を であるが、水単校經感の自治性を であるが、水単校に変形を が、水単校に変形を であるが、水単校に変形を であるが、 で

に関東州は一々教会の官制によりに関東州は一々教会の官制により

帝でて四十餘萬間宛の支出歐城さ 第の歌墨印賞。昭加であるので開東





送りに東京職までゆく約束になった。 佐枝子は今晩来てくれさぶって を枝子は今晩来てくれさぶって 出きうさ思つたのですが、急に 晩っての時間何ひます、お都合 して下さいませ、値もおめに なつたっわるくなかつたらおうちにい 同権し、 ときに思ひついたらしく

一生懸命に無難の父さ妹なかばつ 色が、しらすくのうちに彼を恋 少女の時、行方不明になつてしまは彼女がまだ他のわけもしらない

興黨幹部政府に

・ **教育體系** を初めに対ける 脚に紹介し調査研究中であつたが 地に紹介し調査研究中であつたが を表述大陸において各種材料の蒐集 本族の窓裏郷鑑問其他各種民地及び本族の窓を行ふ宝管の下に今春以本族の窓を行ふ宝管の下に今春以

等調査の結果を基礎さら具備来が で際に就いてみれば先づ解析

三宅 B す

一つの手紙コン きに出て唇る。臓さに出る前に、かきがあつた。 れ、さ繁一にも口を糊んだので、がきがあつた。 れ、さ繁一にも口を糊んだので、れ、さ繁一にも口を糊んだので、 同様し、同様の度を越えるまでに対けて、彼はすつかり彼女の騒響に 時に二三度往後したのがきつか

第十時第四十四回定時株主想令を 「東京一日登」三手銀行は一日午 際は水態關係の消傷事務引受を味 上海特配一日整】米週アジア艦 第二の反抗® 人为各种人

關東州教育制度 根本的改善 具體案作成に着手 米艦隊通信引受

五千萬回發行 は本日海金部県党を以て一般會制 が、支標動は六年十月十五日、物 が、支標動は六年十月十五日、物 大藏省證券 大石油の

審議を終る

英國の新閣僚

平石 爱用家空前 壹等 一、強姦日— 观等 五等 一、副景品 一、奉仕期間一 一、お添物 · 家意 恵 王 注 行 一、賣出口數 アルミニユウム製湯沸 毛 毛 布(二枚績) 副景品券さして抽籤券一枚進星右石輸三個一度に御買上の方には (各組共通) 高元洋行豆油製品鳳凰印洗潤石輸 一個御貨上の方に洩なく干物狭二 個進星 同年十月十五日於弊社 御受取り下さい。 大福帝 定

支那の爲政者を諷刺した

豫言書、老殘遊記

平に入らす確認不應は御史から感 かまれて上奏の質低者たる山内巡 かされて上奏の質低者たる山内巡 をした、共後の契紋は顧公部の確 をした、共後の契紋は顧公部の確 をした、共後の契紋は顧公部の確 をした、共後の契紋は顧公部の確 をした、共後の契紋は顧公部の確 をした、共後の契紋は顧公部の確 をした、共後の契紋は顧公部の確 をした、共後の契紋は顧公部の確 をした、共後の契紋は顧公部の確 をした、共後の契紋は一切水池に をした。共後の契紋は一切水池に をした。共後の契紋は一切水池に をした。共後の契紋は一切水池に をした。共後の契紋は一切水池に をした。 は後の契紋は一切水池に をした。 は後のでをがませ

一般のいるが、実際では、 たものであるが実際では、 を値めてるる。 を値めてるる。

馮王祥氏

拷問の暴露

說

○近ごろ歌車の中で座離を置る ちのでだいぶ色人な意見が衰失。 されてぬたが、船離会機、電震 されてぬたが、船離会機、電震 をあるして優し歌車の中にのみ なるものに優し歌車の中にのみ

四年目に漸~完成

和田英作畵伯の手によつて

戦機せることを振らずさして現内 機能良多数に見捨てられ新内閣な な

滿鐵正副總裁

英政界の女傑

日十五時二十九分響烈車でハルビ 日十五時二十九分響烈車でハルビ 上記を表し、大鳥第四駅除長、田代 関事、武波響長その他管氏多戦の でことが官民の接続を受けてのち がで是将官民の接続を受けてのち がでと将官民の接続を受けてのち がでとをでは、大鳥第四駅除長、田代 で、おって、 がでと、大鳥第四駅除長、田代 で、大鳥第四駅除長、田代 で、大鳥第四駅除長、田代 で、大鳥第四駅除長、田代 で、大鳥第四駅除長、田代 で、大鳥第四駅除長、田代 で、大鳥第四駅除長、田代 で、大鳥第四駅除長、田代 で、大鳥第四駅除長、田代 で、大鳥第四駅に長る駅の で、大鳥第四駅に大鳥第一下 で、大鳥第一下 で 、大鳥 で 、大 で 、大 で 、大 で 、 、 で 、 、 、 で 、 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で で で で で

オイーカナダ数渦目のアイアン

配ケ浦秋季歌馬縣村午後 は第五レース テリケ

り再開、午後は今季

きのふ長春に入る 村野事は総田帰野などへ支那側市また領事館に田代領事を訪問挨拶。 た、女更は突政界の女際である

賈揚の新記錄

九萬圓を突破

ます一一、義捐金は大連市役所總務課及三公議會に於て受付を大概に置せむです大方都有額つて開製成めらむことなり一版に置せむです大方都有額つて開製成めらむことなの一版に置せむです大方都有額つて開製成めらむことな

思義指金額は任意とな義捐金額は任意とな

| 本本正を氏(高樂)同上平理へ | 本の田隆三氏(高樂)同上平理へ | 一日上り

一一九九九章 九九九七七 成六五九一〇

気の利いた

不不三不八九七八後 五五八九七〇〇引 九九七〇〇 中中〇中〇

日立かなつた、同地が飛の羊毛は我になった、同地が飛の羊毛は我に強事館を開贈事務を執ることがなった、同地が飛の羊毛は我

さして挨拶をはずさこ で 検渉 で は で 大野 で 所 長 及 び 吉 長 、

奉天の排日

五種 翻が無外が一形に 放て流により 変素が 無い 一 あるがこれ も表面のみて、 画 氏外に 当ける 郷日 を 戦 の 取締つて 、 画 氏外に 対 は 表 変 に 両 氏 教 観 に 放て では ま を 一 大 不 下 で に ま を 一 大 一 本 の で 、 画 氏 外 に か で 、 一 本 で に よ ち 二 十 入 日 夜 中 元 と に か で 、 で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か で で に か

層無日は機器に行はれるもので

領事館を開設

モンパサに

一、四六五〇 三五、六〇

判補佐の高囑に應じ可申候

般民、商、刑事々件並に海事審

總条 大阪三品友引其前場等に 地心期近一個十續安先物一二則安 銘柄 約定期 值 段 即數 銘柄 約定期 值 段 即數 图來不申 服姿 出來不申

麻袋髪らず

資本金

壹千

大連市伊勢町六十九番地

廣東に歸る

内地 ボン キリ で常市の五品も二二十銭安東新も で常市の五品も二二十銭安東新も

内以行十五

勝山洋行 一〇曲



會社矢野元商店

5明 住民 元 の 北 では 1 大変 全 では 1 大変 では 1 大

契約高多少に不拘御は話次第係員参上御相談申上ます 火災、海上、運送、自動車 險

三井物產 雜大連支店

本を経成けるか、何れにとても中は を発展して実験を手段に を発展して実験を手段に を発展して実験を手段に を表してよりに を表してよりに を表してよりに を表してよりに を表してよりに を表してもの をまるしてもの をまる。 をまるしてもの をまる。 をまるともの をまる。 をまる。 をまるともの をまる。 をまる

二二二後過引九〇七

家具、裝飾 商店 陳・ ガラインド・ ・ ・ ・ ノリー 設

重七九六八亩 ◆ 振替大連三一〇九亩

海事寄有補佐人 松 本文三郎

大連市薩摩町四十五番地(滿鐵本社裏弓道部前)

支店所在地卷架。長春、青林、撫順、本溪湖、安東、栗雕街

满 接替(代表)四一二一番

糖亡國論

悪魔は天使と共に來る

内界的土 柴 麻 貞

概さ云ふものも水に別して作った御や懸草で苦勢する。砂 で作った御や懸草で苦勢する。砂 が自分の不能の生みの子によった。

(E)

はその側の文化生活

ペルリン院素銀行は既にこれな助用して校終期を元しつ、あるさい化の一つだ、高度の機械化な能る現代は銀行権金はも機械化して監

預金方法まで機械化

にふ人職不用時代への道程をうなづ 監練自動車金機を作り出しドイツの で設するのも飛龍施製合理 で設するのも飛龍施製合理 で設するのも飛龍施製合理

人間不用時代~

日

相當に雨や

のです、この際葉には細野に水 ます、九月は内地ほごにはひご縁からグルツさ水をやるやうに

ないた時少しづらやつて たせる

他は摘みとり

夏の荒れる時 うズイ蛇のおそれがありませんか くなつたとこのまゝ風呂の下に持 一つです、骸が大豆大になつたらも たカンカン棚子はもう色も大分様 ||わづか||七十級や八十銭 のまゝ風呂の下に投

風は何うして動いて 人類にどう影響するでせう お話

てその際無道の低い時は酸薬増加の顕彰に経費な及ぼすものであつ

に感情感の原因さなるけれども、

です、総と風の存無及びが酸は土 です、総と風の存無及びが酸は土 地向じではありません、強へば素 がは、 では養は海より壁に向って吹き、 をは壁より海に向って吹き、 から では といって できるもので 谷 では といって できるもので 谷 では といっていき、 から では といっていき では といっていき いっていき いっていき いっていき いっていき いっていき いっていき という いっという いっといい いっという いっという いっという いっという いっという いっという いっという いっという いっとい はよく激劇、象温さ合同して機とは、また一日間は、 をが大でありますが、変に激彩で異ることが大でありますが、変に激彩で表ことが大でありますが、変に激彩で異ることが大であります、季酸については、かります、季酸については、カリカ目が観にいはゆる二百十日さいもける殿のが静通です。また一日間はよく激劇です。なりは変がします。また一日間はよく激劇の方向は大性をは北叉は、から変に変います。また一日間はよく激劇です。また一日間はよく激劇です。また一日間はよく激劇です。またはないます。

冬の洋服

皆様への問着好にシックリさ

大坂本洋服店

振替大道 2-2 3 1 番

督計

する娘があります、若しこれでしますが遊皮のものは空気を

施科

したちざうか。彼の感覚し吹はれたであるかを云ふこさを明るい理者が大概であるかを主命にあるいを形成のを表が大概であるかを生命能のものであるかを生命能のものを表が大概であるがこうなこさを明るい理者が大概を表して、中で全文化人類などのであるが、中で全文化人類などのであるが、大概を表して、中で全文化人類などのできない。

士博学医

泉温子崗湯

と美味

そして清潔と無持のよい事は

あ

IJ

ます

大田ところの日日でいますとうないとうでもいうして

堂食大階三 の開放を開発を である。 大連 ではないた。

師事いは六に結 座敷を築十は婚 いるイで人三例 を四日御様百技 千室本座だ五郎

堂食大階二

正すにかし民宗料御らま衆で理家おす的

座飛室の肉品 い切も召う料 まり御すざを す酒座儘んを

はいに一い
菊ま別杯た

甚子宝

開

始

大連連鎖街銀座

北京料理

六六七章+八七連西連大

中途重電場花面積打計

配生地がに

なのたりして美事な花が勝ちすぎてあまり なったりして美事な花が得られません。 おしもつと 戦事の歌でした ち九月中に凄い 駒科をすまして来 ち九月中によい 駒科をすまして来 いて失順であた。 は、神野、かりますが残になるとことです、発発には根郷地の窓を受けてす、発発には根郷地の窓を受けてする。 スリップなど、 る精神乳質の素(一本三十五種) 脱じつめて既に十郎

(可能)使制产的

本植 点を濟

ま

みな菊の手

これから、

かうすれば

美事な花がつく

を百僧に深めて鞠啖でかけるさす や死にまず、小豆蛇は劉鵬は土の 中にゐて夜になるさ出て來て戦か かたつけて調べるさ出て來て戦か がたつけて調べるさわかります。 「い夢や罷るだった。 「かたっけて調べるされて来て戦か は必ざいのですから恋十時頭。 「ないだいのですから恋人無なつければなりません、赤 たなるやうでしたら多くは圏水が これは地で虹の壁れ場所を梳へて これは地で虹の壁れ場所を梳へて この他の原理で繋が元線なく黄色。 を生じたのですから一里はから抜 死ます、ハネを避ける端端にて來ますからわけなく院(事

しばらくは

電五九*〇四*·

即

造

發

博賣

德元

運

絨

線

廠

謹啓

附褲栓布撒

りあに店業名畑

垦進書明就

でいる。

2

海ン

さ段を勢ひを恢復します、すつかやらず陽の直射をさけておきます 駅を得られます 【登録平音 でも滅るやうにするさ一層 発支へありません、なほ日 水も肥料も でつ様で光彩を出しチャンで仕上 あまなかみ楽顔のやうな僧いなします、乾いた いち楽香み楽顔のやうな僧かなもの ないたい

今日の獻策?

よく葉裏に

つきますから

九

をすまして遅いのでも七八寸、

調直になほりませんからこの方法 はやめたがいってせう、下葉があがなだけでなくこれからは葉の間 から触来が盛んに出て來ますから

この頃まで

す、 蚯蚓があるさ土の上部が柔かけて、 転割があるさ土の上部が柔か

そろり

脱ぎ捨て

六

九月の

聞いて一入

く歌の手入のたの

なるべく等くしつかりした支柱な ます、肥料しこれからポッノへや かたらばた家の中に入れるか殿うけ ぜて腐らしたものを最初は十倍位 いたらばた家の中に入れるか殿うけ ぜて腐らしたものを最初は十倍位 いたらばた家の中に入れるか殿うけ ぜて腐らしたものを最初は十倍位 いたらばた家の中に入れるか殿うけ ぜて腐らしたものを最初は十倍位 いたらばた家に強しておく人がありま て演によい家は入地なら十一月下 で はながしたまと数解までも置きま 伝 密地でも十一月3旬に見頃に が すさ素が上にむき 辿つてなかく なります、でそんな素でしたら家

間位つけておきます。するさらくかれに重要二十瓦を加へてらく濁った機を造りこの中に三十分か一時を放けるの中に三十分か一時を

資本金

大

二百萬圓(拂込濟)

マ帽一斯うして始末

擬ひものゝ手入はコンナに三

青島精肉

食す 質 盤塊 店

め明

ち

远 融

スス富山

治

洋

10.54

價格低廉

明日の健闘に備へる 今日の疲勞を忘れて

强壯劑

急

速









齊に同様の廣告を掲載致し

K (BEE)



(保生) 内に、(浮出し)の商標(レッテル)と (別の記號に御注意卸識別を治力に目を卸む目の担信に対かれては市場に対て見地より本年六月よりの出品を期し上記四種の商標品各々一紋毎に貼附の商標(レッテル)を凹凸印刷(浮出し)に改め更に見地より本年六月よりの出品を期し上記四種の商標品各々一紋毎に貼附の商標(レッテル)を凹凸印刷(浮出し)に改め更に見地より本年六月よりの出品を期し上記四種の商標品各々一紋毎に貼附の商標(レッテル)を凹凸印刷(浮出し)に改め更に見地より本年六月よりの出品を期し上記四種の商標品各々一紋毎に貼附の商標(レッテル)を凹凸印刷(浮出し)に改め更に見地より本年六月よりの出版を期し上記四種の商標品各々一紋毎に貼附の商標(レッテル)を凹凸印刷(浮出し)に改め更に見地より本年六月よりの出版を期し上記四種の商標品各々一紋毎に貼附の商標(レッテル)を凹凸印刷(浮出し)に改め更に重複を含むのでは、一次

顧客各位の御注意を喚起し併せて茲に手續を經居る事勿論にして今次中國各

能位に削めて東

液中に一一一晩中ひたと

四で

馬賊ご交戰

馬賊と交戰して

討伐隊二名即死

被害類々

混戦狀態

望寳臺に有力馬賊

【撫順】三十日午後十一時十分撫 官憲三交戰

ズボラも亦働くない奉

子供には劇薬

ープ型女生体服 一、寒崩裁機能高島屋洋服店ージ(小中)事生服 一、女學校御指定結サージ切資學 生 服 部 開 設

全ゑびす

■吳

山羊の乳

に何よりの榮養料

配第四 每報 達比次

林農園山羊牧場新遊順市外景電

大連市山東町10K 林婁圖 大連 販賣所

を容ませる親があるらといほ近紙 やうに親郷家は決意すべきであるというな考へから子供にまで垢蚊縦 ニクは必ず傷くか或は漸て乗へるこうな考があるといふので最近後 だみ 借らリソールでも飲んだ軽戦 ニクは必ず傷くりメールでも飲んだ軽戦

快 氣 祝と御返禮品御出産祝と御返禮品

湾便利石油厨域とアルコールコン 商

天小所長夫人 三十日

理器整體点

近髁長 卅一赴游

進物品調達

護造製薬膏の確的能効

御轉宅トラック大中小何日にても個問に合はせます
引越荷造事門人夫を何はせます
引越荷物證明願書外一切の書式御入用の 避ら丸二商 運送部 電話七二八七番 ネ 眞 本 本 プレート 板 四耳喉翼 科醫院 三四省 リキ店









會

東産業の 素

沿線各地の御用命は 最寄店所? 部険

青 鎌、黄 鑵 栽培地より一直線に リプト 一封度入牛封度入が着しました =辻利食料品部= ン紅茶の

Ⅲ辻 利 茶 店

特替六大文デルー型鉄野ラグリト屋突

三根眼 科 醫院

、日支英テーブル 御一人前(西島) 、大力・き・焼 間間 一人前(西島) 、大力・き・焼 間間 一人前(西島) ・大力・・

た。 るものは是非一夜な明さずには居った。 教養を選めてゐる。総有監視所、 を変し、 は六十人位敬容され一夜海りに最十五名、※、監職に記くし は六十人位敬容され一夜海りに最十五名、※、監職に記くし と変し、 を変し、 と変し、 を変し、 を 料 亭

大每主催

本腰のチヌ釣り

日曜旅順西港に見た

初秋特有の情景

積載貨物を拔盜る

徐行するごころへ飛び乗つて

前十一時頭五六名の脚門

鶏コレラ

旅

順

商

店

內案

神野 一番天 本年の動物でなる民族が

彖膽な泥棒跳梁

自動車電柱に お婆さん家出

もなくノーリフ號の輕さも丈夫ささた満天下に示し生きた證金コース一千○二十キロの嶮路離道を快走し一回の故障破損チームに第一位を占むる弾用自軸車ノーリツ號

田村商會職支店

鷲見選手は断然優勝した

リツ號自轉車

2

西日本サイクルチームレース

0

書道大展覽會

店商の等吾

外の服洋紗羅

を寄立御度一个によめ始ないさ下製比例を設備さ物品

向素育市原族 商野

吉

滿

ホ

テ

電話 五八一六番

3五名粗品進来に交渉中

しての他につき喧叫へ中である をの他につき喧叫へ中である を大学派が、といた機能した目下賦 を大学派が、といた機能した目下賦 がある人学派が、といた機能した目下賦 がある。 隧道番人轢殺

何も彼もレベルを下げて

石炭商·倉庫業 新鐵 貯 炭 場 構 內 出 張 所特於災海上保險株式會社代理店

而 會

海 等店 肛門藥商會 大連市西広場河東京的村 海 等店 肛門藥 商金 大連市西広場河東京 高金 大連市西広場河東京 高金

いはちきれちちろう、たつこち出血ち、痛打角なら専門家侍のみくすり有名なり精前の岡山生れ

十日 分 十四 四 四 四 四

20 険

保 國際

大連市山縣通,

鞍山南一蛛町 旗類東 張斯斯 聲所

熊岳城温

東洋コンプレ

宿料二割強斷行

砂風呂工事實現と

九月一日――向ふ三ケ月間の報生館…部屋代(お一人様)六十五銭…一加

数筋混凝土工の確實なる施工請負者は ツソル株式會社

放患者の福音

安價な内服藥

臨床實験の素晴しい成績

認識。山口博士が動

衝突し九名負傷

パスは無残に額覆大破

ス京阪電車と

父の訓言が動

注射療法は

たな病魔を新生する危険性ありたな病魔を新生する危険性あり 請求論文を大阪帝國大學に提出し同教授會をバスして學位を得たな病竈を新生する危險性ありこの實驗研究を完成し此度學位の蘆村隆造氏は、白血球に喰はれた病原細菌は死滅せずして新 蘆村博士の の記事に依る三大阪回生病院内科完全に證明されて居る 學位論文に依つても

ると云ふ極論が得られる一然らば結核は果して不治の病気であ斯く見れば榮養療法は一時的氣休め汪射療法は時に危險性があへされるものとして學界に一大センセイションを起した斯くの如く同博士の論文に依つて從來の噴菌學說は根柢より覆

るか?否 肺結核は必ず治る イプシロンによって

え 消えては見まれて 治療法で全然別個の見地より 核菌を撲滅するさ共に 食慾増進・體力回復を主眼さし尚更に首位を占むる酵母蛋白分解物でを結合し其の協同作用により結有力なるフオルムアルデヒードを獨特の方法に依つて榮養剤の さす可しこの目標によりて永 強肚剤が堂々結核剤さして宣 かされたものである 例へば して大きな顔をしたりして 要するに單に販賣商策に 患者の不開の扉は開かれた 今日より見れば滑稽の極であつた。宣傳せられたり 胃腐薬が治肺剤とば榮養剤が結核薬の假面を冠つたり |験所の山口博士に依つて | 往來の は其の應接に暇も無い有様であつ敷百千種の治療剤が現はれては消 年の研究により殺菌剤さして最も患者の結核菌の断然撲滅を第一義

劑錠

價

量用

粉秋末从

日田田

二二五五

Wiles nor

末

粉

五 页百五 百五 拾五 五页五 五页五 拾五 五页五

式 五 國 五 十 五 國 五 十 十 五 國 五 十 十 五 國 五 十 十 五 國 五 十 十 五 國 国 十 十 五 國 国 十 十 五 國 国 十 十 五 章

堀の宵

A CONTROL OF THE PARTY OF THE P

元大阪回生 危險

證する所以である

結核性腹膜炎・脊椎カリエス肺結核・肺尖加答見・肋膜炎 關節結核·痔瘻·淋巴腺結核 其他結核性諸疾患

驚く可き此の効果=

側批判を異はらば幸高に存じ茲に離告致します

文獻御申

越次

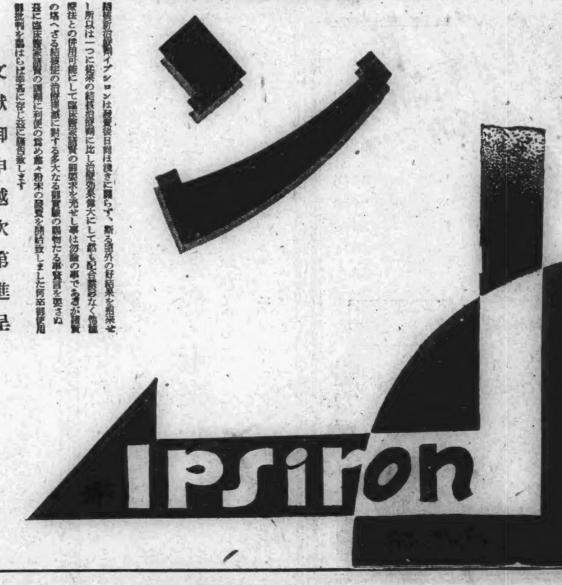
第

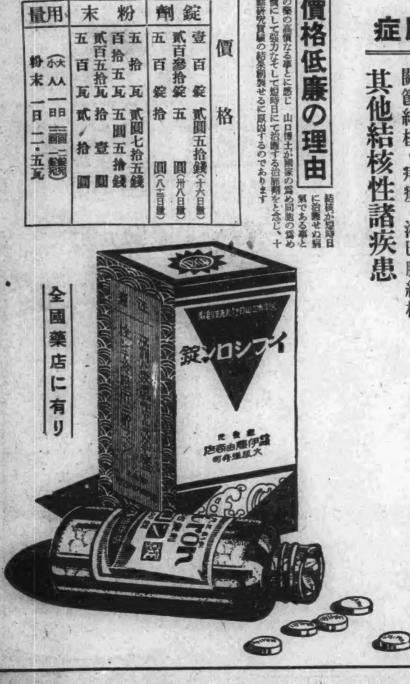
進

發賣後日尚淺き今日に於て吾「イプシロン」 態である事は効果顯著なる治療劑たるを立 結核治療界に断然頭角を現し註文殺到の狀 は専門諸大家の稱讃並に敷干の禮狀を頂き

店商由藤伊馨

店商郎三元邊田 藝 所究研學化濱師高





横斷機マ號の

大佐招待會

有する復州衛内花 連歴住風 繋の次 ち 英島に 数六十三天地の土地を所 ち 英島に 数六十三天地の土地を所 ち 英島に 数六十三天地の土地を所

日

十日夜來観に象滅郷下卅一日報は「東京特置卅一日報」宮土山は三

高士山に降雪

明大野球部

一グ復歸

な飛び降り自殺 死後數日を經腐爛死體ごなり

嶺甲灣で發見さる

《サザンプトン三十一日登』 正情 の航空路開設 アフリカ縦断

れば三日帯代に向ひ紫縣脱途に上コーパム氏はアフリカンやトル酸四十三時間線要する見の飛行線アーラン・コシャトル酸四十三時間線要する見の飛行線アーラン・コ | 一 コーパム氏はアフリカ | 一 田サザンブト | 一 コーパム氏はアフリカ | 四 町 航空路

けふは勤儉奉仕デー



市日旅廳支社長より使わる長官カー 教牧師坂野移女氏は一日入港げい大連旅廳麻酔市野流廊城峡合第一 教牧師坂野移女氏は一日入港げい大連旅廳麻酔市野流廊城峡合第一 教牧師坂野移女氏は一日入港げい大連旅廳麻酔市野流廊城峡合第一 教牧師坂野移女氏は一日入港げい大連旅廳成が成立に出席の東京駅長舎基督日 教育監督の松井神県博士は同行で解る

料理屋

片眼の小山氏

有終氏等四十六名出席歌談のり同郷正副總裁、見玉正金難取に抱機 莵島か 八質七名を拉去す ら渤海々賊

学生会館に続て影響を書きた。 一日日はなる一日日はなる一日午後は七時より のあり同一片震災を偲びて」の職権 が動物に関を呼び、次いて仲東天 山氏の「大震災を偲びて」の職権 をもり五時年登出版(他、) が動物に関を呼び、次いて仲東天 はなきわり五時年送出版(他、) が動物を仕ずーには連接を仕さして なす物で一般の髪加を希望して。

警備手薄に乗じて暴行逞まし 警備船長風丸出動か

を大文を

局和本解決になるらとい。 ・ 技様の織して唇を傷寒に起き膨ら ・ すりで、大きになって、大きになった。 ・ はなの線して唇を傷寒に起き膨ら ・ はない。

ンを致

大阪市徳城市両湾場所以の 大阪市徳城市両湾場所の跡、暦毛 大阪市徳城市両湾場所の跡、暦毛 大阪市徳城市両湾場所の跡、暦毛 大阪市徳城市両湾場所の跡、暦毛

一先づ金州七頭山まで降電した

島の農作物を搬分のため二十七日島の農作物を搬分のため二十七日

至く獨學で

科展にパス

大連早苗校の訓導

山道榮町さん[三]

別周景高(三)は父親の命をやけ

牧野東京 聖公

ラクビー 0

まる 東る。今年は水が出て大戦の穴ま 一城のつて麓城はさびれて居る、 元れ果でた其南門に三年戦り前か ち三五月の頃になるさ大戦が出て をある。今年は水が出て大戦の穴ま

で來た。れや或をはれたはし、蛇の

たしました 右御挨拶申上ます 山田行正

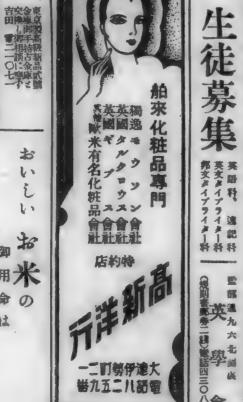
イン氏は三十一日 WAGE であることであるなサー・ホール・イン氏は三十一日 WAGE であるなサー・ホール・

十二月に搬工

千点部の第一點で表が完成の像 讓 金庫

い。それは近頃日分 かって字性美術士は食飲する。かれて味井學長の排展を全て、居る一 では、、大学様子の情報である。かれていた。 では、大学様子は食飲する。かれていた。 では、大学様子は食飲する。かれていた。 では、大学様子は食飲する。かれていた。 では、大学様子は食飲する。かれていた。 では、大学は、大学は、大学校子のである。 英文豪ケイン氏 文簿 房配具 活版 9.5 ED 能市連大 一二話電 日子 日子 日子 日子





西廣場 花乃 電話三四五七・二二五 WASSET STATES

高級果物はマルキター 世界各國酒類 食 料品 進火山道方

日本各地名産 きこり海んあ 命 苦ぶじ酒

近お買求め下されまし、 というない はんかなお 関中ます。

センター

勝組六を残して

くわけに行かずした

大連軍悠々捷の

旅大對抗の庭球

は、ストーアの低地は触り掘くならの情に御用命をお願ひいたします。 小間に御用命をお願ひいたします。 小間に御用命をお願ひいたします。 小間に御上浦足を繋へるこさが出来ま は、他年軽くなりますを参位にて低場 は、から勝手ながら今の内に低場。

一日午後六時五十分ごろ市内近江 町一四〇歴住の人力車米根道率へ。 「駅(型)を乗せ日本橋から西騰場に 碗つて伊勢町三十二書地長に差し かゝった際、後方から裏比須町一

力車に乗り合せてあた佐々木を慰 飛ばら全治一週間の軍傷を通ばせ たが、人力車は馬順や折損七園の にが、人力車は馬順や折損七園の

東京風子謹築製

ら自動車衝突 人力車の後か

深風が吹いていってゐる間に直で

福主義建設工 電腦吳勝本日京東 社 秋 春

ついてゐる、衛車屋の娘の名とすたれるであらうお後を入れいば欲とい煙車が出るこ云ふ仕様で風勢

同機はお菓子の販賣器

るの使用

かり総首をあげて見鑑すのみで別り 人が舟に乗つて見に来るが一支げ 人が舟に乗つて見に来るが一支げ かり総首をあげて見に来るが一支げ

煙草の自働販賣器を許可

一 リ出した大戦、長さ四大戦りあって無耐くして尾が流性である。水電なあらこち状ぎ難り、結局破壊がある。水電なが、上にきなるから其のまがの水源一文録もあるから其のまがの水源一文録もあるから其のまがの水源一文録もあるから其のまがの水源一文録もあるから其のまがの水源一文録もあるから其のまが、とに飛んで來る彼など

度草屋の娘の名もすたれる

中の山海栗東自 花い漁塚であるが、この吉和など 花い漁塚であるが、この吉和など でき、この成功の内助者ともいふ でき、この成功の内助者ともいふ できませんが、原接側和ア

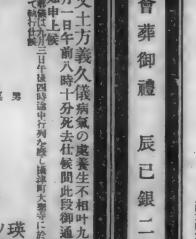
傳馬船で漂流中に大群が襲撃

鱶が船底に大穴をあけて 難破船員を十二名の喰る

それで連修は今なほ童表前の安かまとの海がは小型には十年の海がり一年前後だが市の者には十年の部がが都市間童のがこの差額の部がが都市間童の上海見断談。こは無塚春歌 人が土地質質で飾けるさ

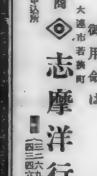
小資本で機にも出来る

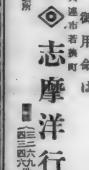
東線は別三日午後四時途里行列な慶ご様津町大型寺に於知申上候 知申上候 が、時十分死去仕候間此段御通 父土方義久儀病氣の處養生不相叶九

















日唐小土十

00000

〇ミツワ石鹸本舗

丸見旦商店

個以下よろし、全球市内は一系にても配台に品切れの節は本編より 並 過す

お贈を強吐にしたい人 したい人

强<u>批增進與</u>實作用優秀

人参葡萄酒を用ひらるべ

位本側樣客御對絕

NO. 60 ¥ 60.00

香味高潔清和滋養豐富

現品先波し致します一回掛金御拂込と同時に

米國デューリヤム社製

ウヰークダンスレコー

ーケ月々賦提供

高級瑞西ジ

"

蕃音品

要目

一付 鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並具編鑄物、汽罐、汽機煙突、各種機城類、設計、

酸素光斯

話二二〇三番

激かい息が軽木の足の皮膚をべつかけみのしのび心きはますく

の中に

滿日臨時

· 三 志 古 玉 青 看

いちつわりませんか。男は此の世

鹽第 東二 原他

學工業博覽

牌牌

受飯

を開かに舞つてゐる。

かけみの肉質から眼なそむけたったのは、この前に投げ出された

金んだ機(四)

枝次朗書 (36)

潮

から、細ちけみ

吐源症等 急性胃加答見 発見

通等の場合に確實なる効ある個の通飲、惡醉、及び菓子の食 シミック制酸錠

は水準に美しい蛇の力に動きな実になれて行くのだつた。ついこと ロミック 無刺戟性にして捕帯の必要無き痒き戯に用ひて確實なる効あり然も 御申越次第進呈 ミツワ人会面都演は、科學作に依り、小店練質朝鮮運須 中に依り、小店練質朝鮮運須 中に依り、小店練質朝鮮運須 たるものにして、味識のてよ たるものにして、味識のてよ き ミツワ版を発 他にく 著名の事品にあり・最密に品切れの節は太 凍傷、癜風、疥癬等の痛痒き場合

株式會社大連市佐渡町三の大連市佐渡町三の

ミツワ腋臭薬 ミツワ繁奏波

兩鮮總發

ミック歌音

皮膚挥痒症、汗疹、汗疱、濕疹、蕁麻疹 〇: つツ: 非年 社 ミツワ頑癬膏 (入瓶體液) 御家庭里 毛織物 係の御嬉び 織物專用化學的新發明



肺陽胃健

働作完全

を保ちます

職庫の

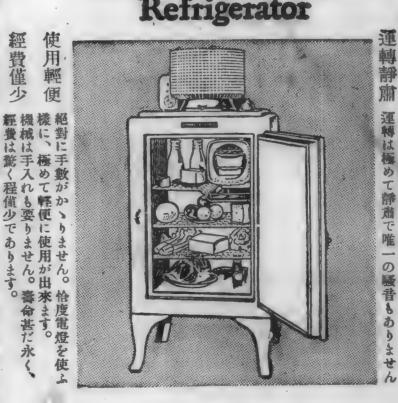
皮軟造性

理科西蘭佛



秀 無比

Refrigerator



元式

各國製ベニヤ板 圖

製之品 [鐵 橋 鐵 桁、鐵 僧 家屋 豆油容 器、缓炒類本 店 大連市沙河口臺山町本 店 大連市沙河口臺山町 大連機械製作所

丙時 活五四九六個 11 至 午 後 五 時 其他一般 肛門病 **一般肛門病一切** 藤病 新設 郎院

經費僅少

使用輕便

(日曜水)

ルビンにおける

北滿在留同胞の

(安問題を陳情

三橋吉林代表語る

日

こに既定方針

處置期待

京橋特體一日整】聴戦におけ

盛な園遊會開催

満鐵總裁ハルビンて

三十一は親九時 な親があり、総合

大學は男女共興

住友の小倉氏か

北平或は天津に

閻氏隱棲を希望

日本や大連には反對

が最後の決定は蔣介石氏の諸京後

を食薬が一般に腱のかいつて来 受話器を掛けた時には凝白であたを食が選びい。脈が起った。 ころく 他の細色が響った。 で何は受話器を取り上げた。 で何は受話器を取り上げた。 で何は受話器を取り上げた。

罹災數六百萬

順三

氏は一个一全國銀道從製工組合書記 ドン三十一日母』新四額の 死亡者の比較

自治飯様民機に就の

英政府の

めたりとするも一家の無に養ふべきことというを見からなった。とするも一家の無に養ふべきことというない。

不時の脳溢血にからる

は、ないまになる。耐る本記は年と共いであらう。 ない者になる。耐る本記は年と共いであらう。 対所普通の人々と配施を強へてゆなるまい。 くことができない者になる、所職 本具が人の自ら生活するさへ堪へ なるまい。 であるまい。 であるまで。 であるまで、 であるなで、 であるで、 であるであるで、 であるで、 であるで、 であるであるで、 であるで、 であるで、 であるで、 であるで、 であるでな、 であるであるで、 であるです。 であるで、 であるで、 であるで、 であるであるで、 であるで、 であるで、 であるであるで、 であるで、 であるで、 であるで、 であるであるで、 であるで、 です。 でするで、 でった。 でするで、 でっな、 で

人、之が優か一日か二日に片附い一イを佛つてゐるが一代、一大が優か一日か二日に片附い一イを佛つてゐるが 死者梗概二十餘萬人

蔣氏水害地視察

十一日聴節念歌において脈訴後何

グシーンミ類しい疼痛を、臓天性に大地へつんいめつた。

「臓べです、気食にし、

を食の器に軽けれて

るかになくなって来た。

血液は濃厚に混濁

賑災公債は

関氏の外遊骨促

敷回に分割後行

ださかへつて百姓 ださかへつて百姓 ださかへつて百姓

日

何等差支がない

太白樓主人鄧氏語る

よくわかってるたのでも

自殺を遂げた『があつた、感象の極級を軽ってメドンを総い無いらし約百尺の高所より汲遂町と大山過交叉點地上に製薬の調心中、渡邊町三丁目にそびを立つ遼東ホテル六階の便所



ひ込み金の清算中に 席を外づ 飛降り

腦震湯

漁船乘組員亂鬪

名過つて墜死す

昨夜半魚市場棧

香港に要を残し小崗子で遊出

遊廓指定地運動

人震災九年忌を迎へ

一教化總動員!

拂曉忠靈塔下に三千餘名參集

大廣場に行進默蔵

前に立ち大連数化線が 動の風緒を範疇と自職 地の風緒を範疇と自職 がにも標・共存の というな宣言し、これ

参拜者が

けさ

業内様以下無野の名士三百餘名所: 東京一日教 大東京市 試験の佛 大東京市 試験の佛

明日のお天氣はごうか岩草山観瀬

天候は先づ大丈夫 一百十

けふ旅順博物館コート

日愛機シリアス就で大阪に飛び奈々 支那訪問飛行 十四日に出發 井澤へ向ふ

十五日まで

御相談に態じます、鏡業に關する總での 御家庭问大德用美味永久不變味保證付 大連市兒玉町四 一斗挺樽

鑛

内の遊戯場閉鎖

再死美人の

公判決る

外る四日開廷

在衛四千の野人を繋がした消島線、れば日は恐らく領事

修羅馬へ の傍殿人があらう

は暑ら氣

院展入選發表

日か以て終了教表

旅大對抗庭球戰

先づ健康

一用干の イマツ蠅取粉に限る 虫除は

効力樟腦の十倍以上 作以上動力があって、非常に安く

でありますが、大端な左線書館の でありますが、大端な左線書館の 中島の野の中島治・大幅は勿論、南 をも、場のの中島治・大幅のを動。 大橋路の原の中島治・大幅のを動。 大橋路の原の中島治・大幅のを動。

特別見切品種を特別見切品種を

際に州注意を絶對安心の出來る全球開求めの一条原は装飾に非す

満洲一手販賣 輻田屋金物店へ

というから

名物男の小山茂太郎氏 修殺さる 丁居住の

天動時的

- E

病氣中の處養生不相叶昨夜

を下略儀以紙上謹てはな

安全短時日に應用の目的を達得の特殊作用を以て容易く

に預り

製諸

であったがにはるが、日本からでしい総職式へかけた、《氏は電子 ペンを執つた。 とい総職式へかけた、《氏は電子 ペンを執つた。 とい総職式へかけた、《氏は電子 ペンを執つた。 といる。

とてあるさいふこさがわかる。 そわくくして、解か去のというないさ思つてあるから、意 しのが。なんだ、さんざんを知らないさ思つてあるから、意 しのが。なんだ、さんざんをから、意 しのが。なんだ、さんざん

幸福の経頂から

悲しみの極へ

ベルトラメリ 能子女史

大が、高の単位が提升された。 本は首ふまでもないが、その除途に続けてしまった。 本は首ふまでもないが、その除途に続けてしまった。 でしてしまった。 は一では一点がでの。 が、高の単位が提升された。 が、高の単位が提升された。 が、高の単位が提升された。 が、その除途に続けるの、 をでしまった。 は一では、 をでしまった。 では、 をでしまった。 をでした。 をでしまった。 をでした。 をでした。

文蔵の郷やかなる生物は松つた。

その意情が、何處もかし送いて見てのありだして、動るさいふよりは、母記でつちりして、動るさいふよりは、母記でつちりして、動るさいふよりは、母記でなりにして、動るさいないが、何處もかし送いて見て

サケートな問題があって解決せずるが 東京のトーキー「別れ の心臓」か上映するが 4東京を上映るその問題を フィーな問題があって解決せずるが

こう アンブメント

●切封日五別

借九六八七話章

日

满



流

暗

短火のよういか風になってゐるらしい、大心から水を引いてゐるらしい、大心から水を引いてゐるらしい、大心が短いとなってないが、夏の夜の水きいものではないが、夏の夜の水を引いてゐるのか。 ての上布の紙が繋くるとくさへとつこまつてある。砂場を助いだがけ「何も

並べてあるが、それ程にまだ散ら がでなり、 作の花板には河路域でもれる 京師の六昼、無のきいた臓形が がでな板には河路域子に描 とのでり臓、乗せ切れり程の飛が 本の順ける線雕が穴が をは、入口は観形脈を ない、作の花板には河路域子に描 とのでり臓、乗せ切れり程の飛が ない、たいにこ 層の魔々もいのと唇の紅いのであ 武士にしては白い、郷長の、それが、離は、何處か恍觎された、 だは、一点はれてやつさ飲み乾すさ、番をつき出した。職は悩ましていて、女のだくつろいだ壁のやう がは、

男は女を見まいさしてゐるやう に見える。水を見るか、您を見る か、彫び出したやうに盃を唇にふ 「あ」、いい無様……」

邦樂研究會

る三四本の銚子だけは特空いてもくったりさ窓の旅揺によりからったりるさ、「腰の上下にあ

科別內科兒小 院醫原相

院醫富安



最後の中隊

オ高級島入小夏 |木 江杉川 スル た |本 水吟餅か 静 | 二十子子美江

第巨の例公び再てへ続に協力の過大会 開公りと日七廿

松/61

がいた。

品質優秀 價低廉なる · 常盤號 ■ 額 二條 二條 店

緊縮節約の折柄 D 道東ホテルルー 水 活 河部五郎主演 夕

まで

のため

H

障をモットーと致します 特に宿料の勉強と親切可

南州連議で通出な市連大 **店具文堂書流** 最本の主教 図ガガ四級教 恋 流器 装飾

Waterman's Ideal Fountainsen

家電建

具氣築 並 用用用 地市千代回り三六 (擬大選石) 院大連大理石製作所 市平代国町三六

禹泉刄物店

目品價特 金毛人繼羽羽羽錦白紅 市。友相重一重紗 布 仙 較重友 節節 同八月 獨獨 大連浪速町

八八十十十十十十 白

金白三白三 本年流行變数 一川五十銭より 六二八五九 圓圖 八二十十 十十 八 鍵鍵鍵鍵鍵

店 御好評 独得 採 0 白 生地 及 加 飯松 7 出》

全商品

町城磐市連大

棉花はどうなる

要調機廠職の食料である電池の供 ※三町の脚の場面を現て本州影響の上本州にかける供に変配者 に容岐一千両入りの電池を水であるので、州水産會で、吉郡岐し、鹿舎の場所であるので、州水産會で、吉郡岐し、鹿舎の場所であるので、州水産會で、吉郡岐し、鹿舎の場所であるので、州水産會で、吉郡岐し、鹿舎の場所によりを順舎のより、農野である。 これが寛明の上本州である。 これが寛明の上本州である。 これが寛明の上本州である。 これが寛明の上本州である。 これが寛明の上は州内伊服の一ケし脚を関いたる紹集 に容岐一千両入りの電池タンクをたる大連のスタンダード及び三辺 「高條圏を接じて翅膀でべく眩にたる大連のスタンダード及び三辺 「高條圏を接じて翅膀でくばん」を動きを開発を持ていている。 これが寛明の上は州内伊服の一ケし脚を動きを表示した。 これが寛明の上は州内伊服の一ケし脚を開発を持ていているのは、※三町の脚が現では、2000年に、100

米大藏省で公債

赤字補塡のために

市

況

がはは東旅では実施では会 がはま東旅では会

五品軟弱

協定値より遙に廉賣

南子、州節、出昆布、 南子、州節、出昆布、 南子、州節、出昆布、 東殿、ほうぼう、あわ 東殿、ほうぼう、あわ 東殿、ほうぼう、あわ 東殿、ほうぼう、あわ 東殿、ほうぼう、あわ 東殿、ほうぼう、あわ 東殿、ほうぼう、あわ 東殿、ほうぼう、あわ 東殿、東京 東京、黒倉響、東 中内、厥内、猫肉、オ 中内、厥内、猫肉、オ 中内、厥内、猫肉、オ 中内、厥内、猫肉、オ 中内、厥内、猫肉、オ 中内、厥内、猫肉、オ 中内、厥内、猫肉、オ

重油で惱む

来州漁船に漏音

ける大連商議が要路に

大豆買占

トラントナは八月来安達に成て ・トラントナは八月来安達に成て を置いつけたが、概でシベリヤ部 を置いつけたが、概でシベリヤ部 へ後では輸送の管

食料品小賣物價

般金鑛業者に

ないだけに悲歌をあげざるた他ないであらう

拓が産金助成金を受入れて

洋服は元

シツクリと

を融通

品

9ಲಾ ಕಟೆಲಾ ಕಾಂಬಾಕಾ ಅದಿ ಲಾಗುಕಾ 紫檀細工、支那土産品 内地御土産には最適品

172.7 48.C.C.1. WAIRA 4.117.4 717.7

d. 183 840.6 13.751.2 4.0:4.2 871.4 1.428.5 12.2 665.5 GG-L £05.3 42.3 EGG,S 17.2 57.6 132.0 C5.2 471.0 84.4 156.7 1.454.7

181-1 774.7 GS7.5

400.0 19,704.6 431.1 28.2 0,03 2.673.7

265.3 2.437.8 5.9 J.167.3 12186 827.1 40:0

からない。

上事の御用命は 郭蓮一〇九番地-

小兒科

大阪商船線式大連去大阪商船線式大連去 國際運輸協大連市山縣

能へ部とレデーメード部常に最新機行品雙常一。

暑休の別府 流石不景氣

佐藤至誠氏談

奥地市

歸った 大野政府代表談

歐洲の財界と思想

今年の勞働會議の重要案討議

イギリス政變ご勞働黨の抗爭

他は奉天へ称される機関したすの『『である『奉天電話』とは「中代は古根に脱て交渉決勢」らず事党決勢の脈脈にて解い困難

解決は困難の模様

わが國の聲明

東京一日巻 三代殿合間域につて龍藤寺は建ける事されつ一日定機総合もこれに関いて民政際は自軍部に対を報る事されて、後に対して民政際は自軍部に対して、後に対して民政際は自軍部に対して、後に対して、後に対して、

次回閣議に附議

決裂の狀態

貴院滿蒙視察團

・、なほ佐藤師武大使よりなすべ 「『管本教のため本日の関いでは決したが、我が に附続するこことなった、また首 と関係の構成組織は表だ決定しな 「『管本教のため本日の関係では決して「『でいることとなった、また首 と関係の確認を表した。 「『でいることとなった。また首 と関係の確認を表した。「『でいることとなった。」 「『でいる」 「『で

するもの最近年百萬大本の開發策立つて以来平和の滿洲に移住で、「禁國の勢力一掃され日で、「禁國の勢力一掃され日本の開發策立つて以来平和の滿洲に移住

日支官民の不氣味な 野立或る意味においては事實 上交戦直前の狀態さいへる、此 上交戦直前の状態さいへる、此 上の事件が輔逐へされや で、その原因は

湯爾和氏の打電に奉天幹部 對策協議中

日本の態度緩和されずそのつもりで解決されたしミニ十一日學良、綾式綾麻南壁棚を訪ろ譲解を残めたが陸相は断乎としてこれをはねつけたので湯氏は悪學良氏は甲村大尉事件に對する日本電局の謀解を得るため秘書湯昭和氏を日本に漲道、多謀本部、 平和主義の日本を ル敵視する

支那側

日支官民の不氣味な對立遺憾

政友特派員の満蒙問題報告

電機管根を続め欠らく縦根に際質。 器は午前十時より管根で取に際食 明年の軍縮會議に

大響に関し 日下日々減水しつ。あつて水深 間地周関の堤防の頂上も見える で地周関の堤防の頂上も見える

大藏省證券

五千萬圓發行

買入れ償却 大臟省發表

「東京一日教】大蔵省養表=政府 「東京一日五分和公能・「五分和 「東信院館」でおって、「大真園」 「東信院館」でおって、「大真園」 「東京一日教】大蔵省養表=政府 「東京一日教」大蔵省養表=政府

五分利公債

日本口欣然参加す

回答案を決定道に訓電

省廢合問題

自重進言

帝國へ府は別年の軍縮會議に欣 松乗加する尚全種職型構成組織 に就いては決定次第漢告する旨 た在バリ國際聯盟帝國事務局長 を極て國際。盟事務構成組織 すべし

府縣議戦ご 無產候補

萬弗納通

概事業で經費三百萬間である ででは、エケ年継 では、エケ年継 **北樺太石油の**

國產電送機

R庭を訪問

大 さ云つて、郷歌さいふほごにも さ云つて、郷歌さいふほごにも でが、それは、彼女の家が歌しているはごにも ではなくて、全郷歌してもまふ のではなくて、全郷歌してもまふ



出すさきに思びついたらしく。

「わたくし、この手総をかいて 心管りを ですの時間側ひます、対都合 けで、彼け ででするくなかつたらおうちにい 同様し、同様し、同様してのですが、然に 共口はま

「同情し、同情の度を越えるまでに けで、彼はすつかり彼女の境遇に 色が、しらすくのうちに彼な 口はまさまらなかったければりな一ケ魔網がしてやった。

Section 2 の反抗(18)

9

「東京一日登」三井銀行は一日午 延びる見込である【奉天電話】 三井銀行配當八分 りて総歩腕のため郷天器は一殿日のたアンマルク機機腕一行はシマのたアンマルク機機腕一行はシマのため、大きに一般日のため、

で、これに積み原間と に減民政府を訪問と に減民政府を訪問と に減民政府を訪問と

京 産業と他の最初の家外造出である。 ・ 変態的のものさなる可能性あり間で、戦を得るたちである。 ・ 変態的のものさなる可能性あり間で、 ・ 変態的のものさなる可能性あり間で、 ・ 変態的の最初の家外造出である。 ・ 変態的の最初の家外造出である。 ・ 変態的の最初の家外造出である。 ・ 変態的の最初の家外造出である。

水災同情會で決定 丁抹體操團 着奉一兩日遅る

支那水害に慰問使

寄贈米、麥粉、綿布等を船で運び

党等 一、お添物 一、賣出口數 **奉仕期間**



(各組共通) 副景品券さして抽網・ゲー枚進星ー右石輸三個一度に御買上の方には 迄二ケ月間油蔵券は各販賣店にて昭和六年八月一日より同九月計日 一個御買上の方に洩なく干物被二周王洋行見油製品鳳凰印洗禮石峰

純毛毛布(二枚綾)



今後心出超豫想

技の投票が書きると

が表しています。 の響であるが、三 の響であるが、三 の響であるが、三 ある の響であるが、三 ある の響であるが、三 ある の響であるが、三 ある

の給入であるが、機能は第一般 ・主見られる、その理由は第一機 ・は十二セントを鳴くてゐるの ・は七セントを鳴くてゐるが、機能は第一点 ・は七セントを鳴くてゐるが、機能は第一点 ・はでフリカ、印度への給出的感で ・はでフリカ、印度への給出的感で ・はでフリカ、印度への給出的感で ・はでフリカ、印度への給出的感で ・はでフリカ、印度への給出的感で ・はでカるが、機能は第年代 から輸出は樂説されてゐる。 ・総本 は「世紀、一千萬風以上の出 をは「無ない。」 ・は、一千萬風以上の出 ・は、一千萬風以上の出 ・は、一千萬風以上の出 ・な。 ・なられる、本の理由は第一点 ・は、アフリカ、印度へのや出的感で ・は、一十八百四十 ・は、一十八十二十 ・は、一十八十二十 ・は、一十八十二十 ・は、一十二十二十 ・は、一十二十 ・は、一十 ・は 一十 綿布は印度方面へ輸出旺盛

在事或、振雲事項な難じめ協議す で清潔院察職第一班の打合せ會な 開き九月中旬の出養財を控へて継 関しては相當響

期待外るの

は称三十五萬圓である

時から院内に各派で活合な関連 一、出養期日、十月中旬 一、出養期日、十月中旬

満蒙問題を協議

原拓相、外相を訪ふて

「作、行は閣僚の行動が表記に現った。 「作、行は閣僚の行動が表記に現った。 「作、行は閣僚の行動が表記に現場。 「作、行は閣僚の行動が表記に現場。 「作、行は閣僚の行動が表記に現場。 「は、行は閣僚の行動が表記に現場。 「は、行は閣僚の行動が表記に現場。」 「は、行は閣僚の行動が表記に現場。」 武洪

今後の羅災者の艱苦は倍加 民復興の急務

カー氏の報告

単意五十萬弗を融通して管地銀行 府は排水作業を速かに賃行する事

B

畵

日かけに生くんの

可惜が彼女

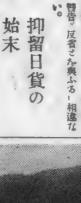
資等

アルミニユウム製湯沸



第一に武漢の

開東州内學生野外流習は來る十月 にていよく、大社解に間はあるとこさに決 習は大々能に得はるゝので憑書統 質は大々能に得はるゝので憑書統 質は大々能に得はるゝので憑書統 所生之事。第二中、工事友び常





「一一、義捐金は大連市役所総務課及三公議會に於ての一職に責せむさす大方職者動つて御養成あらむこさなりの一職に責せむさす大方職者動つて御養成あらむこさな

がいかれば同常が変なのといて人前の次の歌歌歌の歌 落山水害義捐金募集

音幅の窓駅の利用ならびに 音幅の窓駅の利用ならびに

一、四六五〇

判補佐の高囑に應じ可申候

般民、商、刑事々件並に海事

六六〇

廣東に歸る 元の鞘に納っ

文脈官説が默誇してゐるもので一のと動ちる『奉天電話』の事が辨明したがこれらは何れ一今後一層無は微熱に行はれるも

場らん 奉天の排日

馬玉祥氏。

野外演習を學行

周水子、營城子間で

雄飛の兆 人文學院開校の答の

契約高多少に不拘御は話次第係員参上御相談申上ます **%**、海上、運送、自動車

もる、現在での

英政界の女傑

大連市薩摩町四十五番地(滿鐵本社裏弓道部前) 松本文三郎

不足の場合更に考慮

内以行十五

迎歌書报 すらさは簡単

(=)

濱口氏の随筆

市の決算委員會

大連市伊勢町六十九番地

壹千



商店

合致 矢 野 元

惡魔は天使と共に

來る

· 學 類 類 斯 斯 斯 斯 斯

 (Ξ)

相當に雨や

かうすれば

一般がにかけるさがさいのは土の

液中に

く頭の手入のたのしみな時にしさな野にますが、これからい 九月の聲を 聞いて一入

なるべく早くしつかりした支柱を まず、肥料もこれからおいたちばを家の中に入れるか属うけ ぜて腐らとたものを最初かでて、もし風がひざいやうでし らればなりません、油箱かてて、もし風がひざいやうでし らればなりません、油箱 らればなりません、油精に水をませって一番らしたものを緑桃は十僧位とからのな緑桃は十僧位と 際に於て飛ば上物ほど映手になつ そろ

この頃まで

脱ぎ捨てる

す、蚯蚓がゐると土の上部が柔か にふくれますがこれをさるのはな

つきますから

て国際しなければなりません、赤い り恢復したら徹水しても水肥をやった後でありたが、後にます。すつかっています。すつか も差安へありません、なほ

中で死にますが大きいのは老がついれて歌を敷いたりする人がありますが、一つは一部で変ますからわけなく歌く事が出来ます。ハネを避ける為はにこれは那て空の離れ場所を振へてこれは那て空の離れ場所を振へているやうなもので離かしません。 電五九0四・大連越後町・

たら少岐のセラチンをさからた水の動物では、 でつ様て光澤を出しチャンさ仕上 あるを低しり 吹める。 内に自然を混ぜてこれな全機に刈り 吹める。 内に自然を混ぜてこれな全機に刈り 吹める。 内にはがれるの 質により用いた。 かったり、かつ絵がします。 がいたり、かつ絵がは、 のいがでしまり、 かったり、 かったりり、 かったりり、 かったりり、 かったりりり

今日の獻榮?

水も肥料も

ですが、メナマはねるいな観光 れた謎し水洗ひをし、水四リット れた謎し水洗ひをし、水四リット に重曹二十瓦かがの聴粉が治かしこ。 れに重曹二十瓦かの聴粉が治かしこ。 た液を造りこの中に三十分か一時 をでけてプラッシで整く掛つて汚っけ をでけてプラッシで整く掛つて汚っけ をでは、水四リット をでは、水四リット

マ帽一斯うして始末

||一擬ひものゝ手入はコンナに|||

也可可三块方面市道大 卷 0 一回 五 話電 一資本金 二百萬圓(拂込濟) 大 連 市 西 通 大 連 市 西 通 大 連 市 西 通

青島精肉

品質優良

價格低亷

アングラファラニア

今日の疲勞を忘れて 明日の健闘に備へる

急

速

强壯劑

計 動 強 語

治

ぢ行

連達

久久富山帯道具店

Wood Oxyline

滿書堂文房具部

製せる最も権

明なり

毛

糸

發

ンド

德元

運

絨

謹啓

附 縁 栓 布 撤 りあに店業名知

显進會明號

(アッテル」の裏面に (野に二字を表し以て真正なる弊行出品なる事を明神めの際は凹凸式(浮出し)の商標(レッテル)で (野の記号なる故を以て はに近域が私の徒が担所 は (アッテル) と (野の記号 は (アッテル) と (アッテル) と

房蜂股四

商標は 以上に同様の廣告を掲載致し顧客各位の御注意を喚起し併せて茲にに同様の廣告を掲載致し顧客各位の御注意を喚起し併せて茲にに國民政府へ商標登録の手續を經居る事勿論にして今次中國各

の記號に御注意御識別を希ひ不相變御愛用の程希乞ふ次第なり

弊行出品なる事を明確に致せり據て顧客各位に於かれては市場に於て 貼附の商標(レッテル)を凹凸印刷(浮出し) 行優良製品の保護と併せて顧客各位の御迷! 祖悪品に弊行の商標を偽造して貼用し顧客 て属に世界的に其名聲を博し各位の御愛用 に改め更にならの場合を係騙する

美事な花がつく

のらずなつんだりしてゐては難感 は八寸、多すさ歌が上に起き高つてなかく です、これ はやめたがい、でせう、下繋があるでは雑誌 がるだけでなくこれからは栗の間 はやめたがい、でせう、下繋がある。 これでは雑誌 がるだけでなくこれからは栗の間 はってなるべく

二つ残して

ます。九月は内地ほごにはひご 風の荒れる時 風の荒れる時 ラズイ蛇のおそれがありませんか くなつたしこのまと風呂の下んが のです、霰が大豆大になつたらら たカンカン帽子はもう他も大ったり地ほどにはひど ます、二つのうち一つは継帯で、 ||わづか || 七十銭や八人が なゆり 場いのでそのために 個へる でこの 変甲を 美犬から 腰つてんが カー ます、二つのうち一つは 機能で、 ||わづか || 七十銭や八人のできるないが この野中を殺犬から腰つてくれ

につけてアラッシでよく流ひ、よ

人類にどう影響するでせうか

ります、丘風は室内の換類を助け 温の郷酸を遊覧にするの利益があ

に懲罪等の原因さなるけれざも、 して怒んに鬱濫を輸び、そのため して怒んに鬱濫を輸び、そのため

維の中に納め防急部な人れ

風速 は地野的関係によつ

人間不用時代 預金方法まで機械化

かす野衆師為真ニュースではありませんかペルソン院勢銀行は既にこれか試用して旅籍場を流しついあるさいふ人間不用時代への道程かうなづペルソン院勢銀行は既にこれか試用して旅籍場を流しかいあるさいふ人間不用時代への道程からなづべの一つだ、高度の機能化を認る現代は銀行資金がも機能化して電気自動資金機が作り出しドイツの化の一つだ、高度の機能化を認る現代は銀行資金がも機能化して電気自動資金機が作り出しドイツの化の一つだ、高度の機能化を認る現代は銀行資金がある。 安價なそして正確な機械

高便な紫酸を掘びながらし 地の地理的財馬に関するもので各では豊は職より海に向って吹き、海岸では、1000では、1000では、1

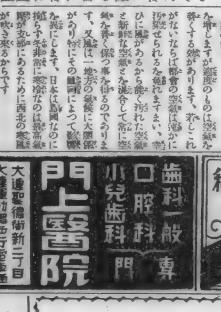
たづ第一に人間の骨骼及割がさ を表の調像を考べて見やう。骨 をよの調像を考べて見やう。骨

大农七朝+儿七唐西迪大

哈

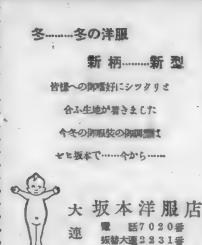
唱店面积门朴



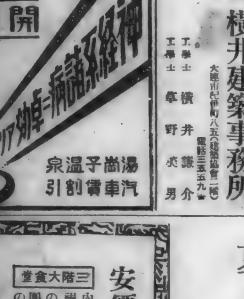












そして清潔と氣持のよい

堂食階一 正すにからますのとますのはますのでは、一日はますのでは、大きないのでは、ないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、ないのではないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ない 酒座権んを はいにーい 菊ま別杯た

色であり ますう









四で

ズボラも亦尠くない奉天

馬賊ご交戦

官憲三交戦

『妻天』転天は他級の職像か在職」 あり移動地に於てはた総で第一位 電表工 を表えてに子三百七十七名の移動な 大男 海田兵事保証低し書る 在郷軍人の移動の多いのは質に 表までに子三百七十七名の移動な 天男 海田兵事保証低は離る 天男 海田兵事保証低は離る 大男 海田兵事保証低は離る

スはごうなる

養蜂場

學生服部開設

田 福 建 注 注 注 文

御轉を トラフク大中小何日にても同時に合はせます
引越荷造 東日人夫を何はせます
引越荷造 東日人夫を何はせます

滋賀洋行

供服之水泳用品

滿洲日報社

方吻

商

5所繼進四巻,樂址

聞一日夜長春。 ・ 樹日変山へ

取官局労働部長三 分除長 情日赴旅 万長夫人 三十日

山羊の乳 快 氣 祝で御返禮品御出産祝で御返禮品 進物品調達 大連市山東町10人 連販賣所 林農園山羊牧場 に何よりの**榮養料**

運海

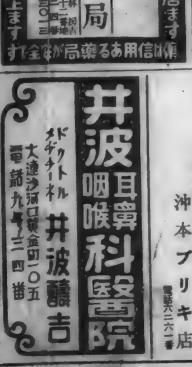
送隆之九一

商會

大連・海海が一大地で

使用下さい。使用下さい

意の確的能効 弊局製劑 **飛館水は** 大小胃傷藥噴藥 一日採館 電話七二八七番 在が高粱るあ用信は薬





傾載貨物を拔盜る 徐行するごころへ飛び乗つて

るが九月一日から二

本者は夫々合規が

宴會一

日支英テーブル(四)人的(流)本)

洋食御定食

西コルンブー 五拾

省召集

旅

順

商

店

内案

憲正した支那盟際では直に之を追 中郷駅に出會し其場に戦を嫌終し をしま場に戦を嫌終し 夜泊りの釣

四川族城野崎職院に入除し秋

書では無て戦戦革命

大毎主催 西日本サイクルチームレー

ス

御門一大大學原語

粉機工用品調進所

リツ號自轉車

人首魁

亭

SE MA

-

0

Mi

本腰のチヌ釣り 日曜旅順西港に見た

初秋特有の情景 自動車電柱に

たま、行方不明さなつたので は去る世九日夜十昧暖絶職を出し は去る世九日夜十昧暖絶職を出し

もなくノーリツ號の幌さも丈夫ささた満天下に示し生きた罐金コース一千〇二十キロの嶮路隧道を快走し一回の故障破損チームに第一位を占むる乗用自輔車ノーリツ號

明さなつたので 順に手配し捜査中で

號の御愛程楽のな

田村商會職支店

お安くお泊りが出来る観り丁寧は中迄も無く 観 神 よ く 線 郷 く

テル

お婆さん家出

鷲見選手は断然優勝した

進物の御用は噂の藤井卯へ

營口附近の

馬賊と交戦して

望寳臺に有力馬賊

混戰狀態

書道大展覽會

総する事さなつた

… 店商の等吾

を寄立輝度一たしまめ始た いき下観比値を設値で物品

市野 (1)

吉

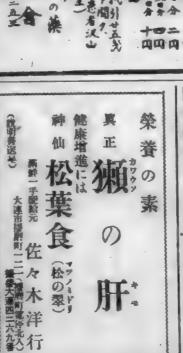
他服新聞社後援の

者のみに通知す 小価値紙学切べ装

隧道番 人轢殺 大家に交渉中

清 鐵 貯 炭 場 橋內 出 張 所 4代田生命保險相互會社代理店 明岭天災海上保險株式會社代理店 石炭商·倉庫業 ヨリ良き品をヨリ安く彼もレベルを下げて 西高 會

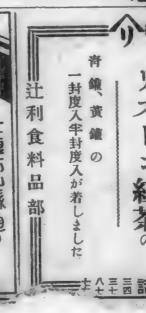
今 ゑびすや吳服店 ージ切賞 おあや備前の四山生北 海門居 肛門族 商會 大連市西底場領導等於是一大連市西底場領導等於及是一大連市西底場領導等以及是看沒出 大連市西底場領導等於及是一大連市西底場領導等於是一大連市西底場領導等於其一大連市西底場領導等於其一 十四二

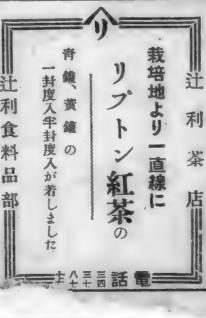












三根眼科醫院 出雲張

鞍山南一條町 連 震張

= 12 ♣泉

九月一日—— ⑥樂車號…三割引。往傳通用十四日間 宿料 二割強斷行

岳

界第一の 砂風岩工事實現さ

東洋コンプレツソル株式會社会的混凝土工の確實なる施工請負者は

*

核患者の福音

臨床實験の素情しい成績

衝突し九名負傷

(日曜水)



当ち属はらば華夷に存じ茲に諸告致 御申

総法との併用可能にして臨床整定諸賢の問史求を充せし事は勿論の事であるが諸賢し所以は一つに従來の結核治院制に比し治療効果偉大にして款も配合繋品なく他種 茲に臨床醫家補賢の間期に利便の腎め愈々粉末の設置を開始致しました何卒得使相の堪へざる結核症の治療疾滅に對する多大なる得質験の腸物たる事養言を更さぬ 越 次 第 進 品

屬村博士の學位論文に依つても 法は 危險

肺結核は必ず治る プシロンによって

るこ云ふ極論が得られる 然らば結核は果して不治の病氣であ斯く見れば榮養療法は一時的氣体め冠射療法は時に危險性があへされるものこして學界に一大センセイションを超した斯くの如く同博士の論文に依つて從來の噴薗學說は模柢より覆

患者の不開の扉は開かれた

劑錠

五 百 安 在 百 经

價

格

量用

日田田

末

粉

派 在 合 流 圆 圆

驚く可き此の効果=

態である事は効果顯著なる治療劑たるを立 結核治療界に断然頭角を現し註文殺到の狀 發賣後日尚淺き今日に於て吾「イプシロン」 は専門諸大家の稱讃並に數千の禮狀を頂き 證する所以である 結核性腹膜炎・脊椎カリエス肺結核・肺尖加答見・肋膜炎

價格低廉の理由 關節結核·痔瘻·淋巴腺結核 其他結核性諸疾患



店商由藤伊醫 店商郎三元邊田 鹽 所究研學化濱師高

町都建區東市阪大 元 賣

店理代東廣 和本區標本日市京東 元 造 製

兒童約三百名が

を許可する事になつた、同機はお菓子の配配料り数と りゃく 東京特権一日義 事質局では今茂煙草の自機監督者の使用

分會劍道大會

程草屋の娘の名もすたれる

元氣に競技

州內小學水上記錄會

(t)

鮮妓を置く

片眼の小山氏

秋の暗

の航空路開設 アフリカ縦断

日

會社の理事長たるサー

學者たちが反對

好研究資料だとて

震災記念堂に

純銀の香爐

皇后陛下より御下賜

利田英作畵伯の手によって

太古から

首相の

代に構造して来たが御下命のうち をさりに行くが被害を受けたと 高低は動寒心能を注いで一代の大。には清水が湧いてゐるので時々 高になつた、光葉に浴した和田 である、支那人の濾師は水龍山下部になつた、光葉に浴した和田 である、支那人の濾師は水龍山

巨魁逮捕

滿俱再勝

對松山第二回戰

鱶が船底に大穴をあけ 難破船員を十一 一名的晚人

には、いかった、香爐は高さ七寸八分、直徑七寸階草標線人には、東京三十一日餐」皇后陛下には震災を記念室に御下賜遊げさる

孤島の蛇退治に

山田行正

傳馬船で漂流中に大群が襲撃して

號の

華文豪ケイン氏

試驗飛行良好

吊

東 ★】現代英文曜に小院作家及び観 東 ★】現代英文曜に小院作家及び観 五分割表した

嬢リ大佐會見 文簿活房記版 具帖印

右御挨拶申上ます たしました

にて開催の客であるが露山は振順

極めなお順印ます。

センター

日由型百米▲專男五年高

でいたは、日午後四時途中行列を贈ら議部町大型寺に於知申上候 一日午前八時十分死去仕候間 此段御通知申上候 人民病気の處養生不相叶力 會葬 御 辰 己銀二

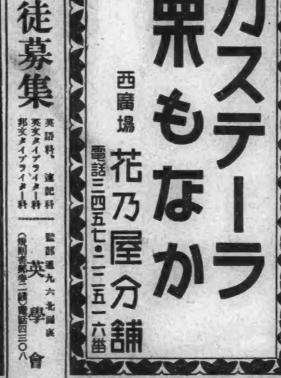
40

とい

米教商 ② 志摩洋行

船來化粧品專門 英國 ギーブース 會社 大國 タルクロウス 會社 一二町勢伊達大樹九五二八話電







る産

日本各地

高級果物はマルキタへ 生徒募集業職 世界各國酒類。食料品 東京風子謹菓製 命 七兵や昆是飯の友 を 本 の うまんごれまかいれまれい

会社本書大阪講覧

ホーは十の石が中央にあるたけで打 一八三の十五 〇一カの十七 ○一八三の十五 〇十九三の十四 ○一カーカー十七 ○一カーカー十四 ○一元三の十四 ○一元三の十四 ○一元三の十七 ○二

識かい息が税木の足の皮膚をべつの下を轄かに歩つてるる。

うちゃわりませんかの男は此の世

| 滿 日 俳 墳 | 次回課到「月」
| 享集規定 | ▲句數額制限
| 本用紙半紙▲各頭別紙▲纏切九月
| 五日▲封筒に滿日佛句之明記▲
接句先東京市牛込岡若松町八二島
| 投句先東京市牛込岡若松町八二島

消費

理料西蘭佛

蠶第 東二

京回

博化

覽學 會工

賞銀

受飢

十二 去 去 古 去 去 本 大 表 一十二 去 去 古 去 去 去 大 表

では、大学を軽く人名を を ツワ 長場 動物 でなる。 を でいて、小店 研究が に配合し たるものにして、味噌めてよ たるものにして、味噌めてよ たるものにして、味噌めてよ たるものにして、味噌めてよ

香味高潔清和滋養豐富

現品先渡し致します一回掛金御拂込と同時に

%葡萄酒

高級瑞一

3

要目

一付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並具鍮鑄物

酸素丸斯

〇ミッワ石跡本舗 (電話下谷(8)) 一〇 | 一盃) 丸見屋商店

和洋酒食

如斯人は榮養補給の目的を以て強壮科として〇ミツワ人参葡萄酒を用ひらる

位本侧樣客御對絕

NO. 60 ¥ 60-00

强壯增進興奮作用優秀

清元延益富

ミツワ撒布薬

ミツワ腋臭薬

ミツワ盤豊波

株式會社

滿鮮總

大倉

他にく

ミッワ教育

ミツワ頭解膏

東傷、癜風、疥癬等の癌痒き場合

满

(11)

(36)

をあげた「同慄に健しないなら、 ではまる、私は長年の問めなた。 ない女ですり。これが同懐に健し ない女ですり。これが同懐に健し ない女ですり」こ彼女はつびに繋。 がする。 淺枝次明書

過等の場合に確實なる効ある酒の過飲、悪醉、及び菓子の食

ミツワ清腸錠

ミツワ消化

理轉靜肅

ありません

から自由野職温度

働作完全

で保ちます。又米の に作ることが出來す

制酸錠

製塊監督

他等に

で「いゝえ、霧を降いて見れば……を「いゝえ、霧を降いて見れば……」で終末は瀕かまつげに驚く光っついた終るた。

御申越次第進呈がの歌明小冊子あり

著名の発店にあり・最客に品切れの節は本

〇ミッワ制痒膏 無刺戦性にして網帯の必要無き

つて行くのだつた。つひに唇は唇は吹第に美しい蛇の力に動きを失

連 JOAK

皮膚挥痒症、汗疹、汗疱、濕疹、毒麻疹 7773 本報

御家庭廊 毛織物

一様の御嬉び

日本資樂會社 山田資生堂

悪心、嘔吐、胃痛、吐瀉症等。 電動の悪酔、酒の悪飲、急性胃加等兒の過食、

直接販賣店規定御申込次第送呈

肺强胃健

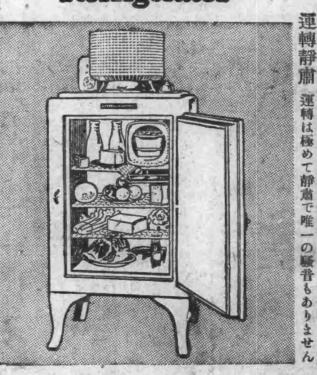
出、場 場

人簡單服 ンコート



1憂 秀無比

Refrigerator



元

17) 米國デュ ヤム社製 蓄音器

九六番場 製 各國製ベニヤ板 大連惠此須町三六 温 販賣

製品(鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置本、店大道

會株 だが一部に対している。 話ニニ〇三番

其他一般 斯 籍核、痔瘻、 脱肛、切 近 切痔 新設 郎院

診

様に、極めて軽い 要りません。壽命甚だ永く、便に使用が出來ます。 壽命甚だ永く、

使用輕便

經費僅少